

真庭市では、令和2年度末までに、児童生徒1人1台の学習用端末や校内の高速無線LAN環境を整備を行い、令和3年度から1人1台の端末環境の下、GIGAスクール構想実現に向けた取組を本格的に始動しました。

令和4年度は、ICTをより一層効果的に活用し、児童生徒の学習の充実を図り、これまでの教育実践とICTが融合した、新しい真庭の教育を目指し取組を推進していきます。

## 学校では

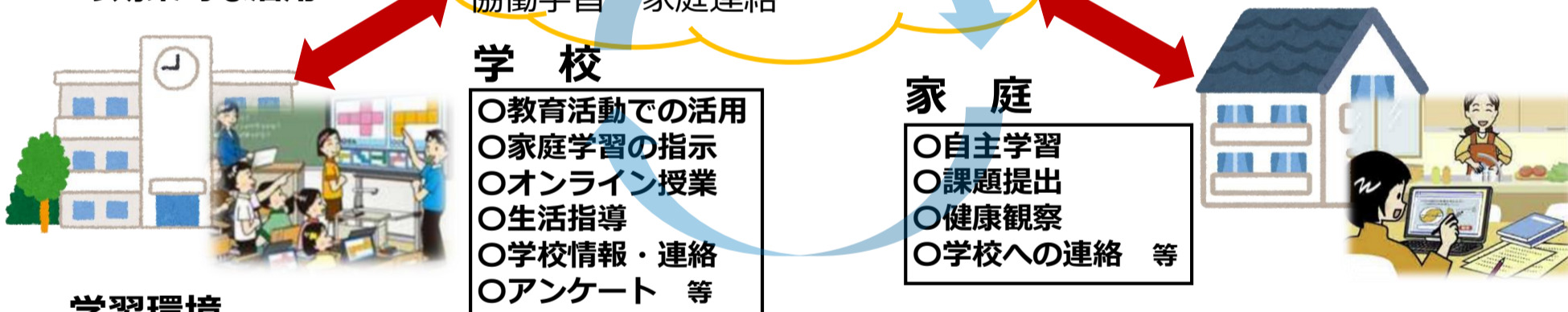
真庭市では、Googleが提供する統合型アプリケーション「Google Workspace for Education」、ライonzが提供するクラウド型学習支援サービス「eライブラリ」、東京書籍が提供するARアプリケーション「マチアルキ」を主に活用し、学習を進めています。

## 家庭でのPCを活用した学習を進めます

真庭市が目指す教育を推進するために、家庭学習におけるPC端末活用を進めていきます。学校での学習の続きを自分のペースで行ったり、もっと調べたり、自分なりにまとめて次の日の学習の準備をしたり、自分の苦手な学習をしたりするなど、学校での学習をさらに広げていくようにします。

### <学習イメージ>

個別最適な学び  
協働的な学び  
への効果的な活用



家庭学習の実施  
家庭との情報共有  
の充実

### 学習環境

学校：○1人1台端末 ○高速通信環境 ○教育用アプリケーション

家庭：○インターネット環境 ○子どもが使うことのできるPC端末 など

### Google Workspace で・・・

#### 各アプリケーションの共有機能を使って

文書作成、表計算・プレゼンテーション・ホワイトボードなどの各アプリケーションには共有機能があります。この機能を使って、児童生徒の意見交換を効率的に行い、協働的な学びを促進していくようにします。

#### アプリケーション「Google classroom」を使って

「classroom」では、クラス内での情報共有や、課題の作成、採点、返却などを行うことができます。この機能を使って、宿題を出します。子どもたちは、「classroom」で示された内容に従って宿題をし、提出します。

### eライブラリで・・・

#### デジタルドリル

#### 「eライブラリ」を使って

子どもたちの学習状況を把握し、確認テストを実施したり、宿題を出したりすることができます。さらに、子どもたちは自分の習熟度に応じて、自動構成された問題に自主的に取り組むことができます。

学校での学習と、家庭での学習をつなげ、クラスの実態に応じた授業づくり、及び、子どもたち1人1人に適した学習を通じて、学力向上を図るだけでなく、自ら主体的に学ぶ力を育んでいきたいと考えています。学校及び家庭でのPC端末を活用した学習に、ご理解とご協力をお願いいたします。